

【教師用（保護者用）】コンテンツの手引き

新型コロナウイルス感染症の影響がある中においても、学校においては、家庭における学習の支援を行うといった子供たちへの「学びの保障」に努めることが必要とされています。また、新学習指導要領では子供たちの「主体的な学び」も求められています。これらの要請に応える方法の1つとして、自主学習^{※1}の取組が考えられますが、自主学習に取り組ませている先生方のクラスでは、次のような【子供たちの困りごとや子供たちの課題と思われること】はないでしょうか？

【子供たちの困りごと（○）や子供たちの課題（●）と思われること】

- 何をすればよいのか（内容）。
- どのように進めればよいのか（方法）。
- どのくらいすればよいのか（量、時間）。
- 取り組んでいる内容につながりやまとまりがない。
- そのときの気持ちや状況で内容や量、時間にばらつきがある。
- 宿題の提出が目的となり、学習状況の改善や学習内容の理解を深めることに意識が向いていない。

そこで、本研究では、このような【子供たちの困りごとや子供たちの課題と思われること】を解消し、自主的な学びを支援していくためのコンテンツを作成しました。児童が本コンテンツを使って、自主学習に取り組むことで、学習状況を改善したり、学習内容の理解を深めたりすることができると考えます。是非、御活用ください。

コンテンツの概要

本コンテンツは、児童が、小学校算数科第6学年と第5学年において、教科書を使って、単元ごとに学習状況を自己評価し、理解度に合わせて自分で学習状況を改善したり、学習内容の理解を深めたりしていくことを目的としています。

そのために、本コンテンツは次のような構成にしています（次ページ図1参照）。

- 1 教科書を読んだり、問題を解いたりして自己評価する内容
- 2 1に該当する教科書のページ
- 3 1、2を受けた自己評価（理解度）
- 4 1、2、3を受けたチェック問題^{※2}の番号
- 5 教科書会社の学習プリント^{※3}の紹介、佐賀県教育センターの学習プリント^{※4}の紹介

また、これら1～5を単元ごとに1枚のプリントに表し、学習する内容の確認から、学習状況の自己評価、理解度に合わせた学習の進め方までが分かるようにしています。

本コンテンツをこれから「自己評価シート」と呼びます。

なお、自己評価シートの内容は、佐賀県内の市町の小学校で採択されている【啓林館】と【東京書籍】の教科書の内容を参考にして作成しています^{※5}。

※1 本コンテンツの「自主学習」とは、教師が子供たちに課す宿題とは別に、子供たちが自主的に取り組む学習のことを指します。

※2 チェック問題には、過去に出題された佐賀県小・中学校学習状況調査の問題を使用しています。なお、該当する問題が無い場合は掲載していません。

※3 教科書会社の学習プリントは、佐賀県教育センターのWebサイトから閲覧、ダウンロードができます。

※4 佐賀県教育センターの学習プリントは、佐賀県教育センターのWebサイトから閲覧、ダウンロードができます。

※5 全ての単元や内容を網羅しているものではありませんのでご了承ください。

【図1 自己評価シートの構成】



ここを見ると、この単元で学習するおおよその内容やこの単元に出てくる算数用語や記号が分かります。



ここを見ると、単元名が分かります。

【比とその利用】						
【学習内容】 比の意味や表し方、等しい比の意味が分かり、二つの数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりできるようになる。この学習では、【比(：)】、【比の値】という【算数用語や記号】が大切です。						
	☆教科書を読んだり、問題を解いたりして自己評価する内容	【ホップ】			【ステップ】	【ジャンプ】
		啓林館 ページ	東京書籍 ページ	自己評価 (理解度)	チェック問題	チャレンジ問題
↓	・比の意味と比を使った割合の表し方を理解すること	112～113	77～78	A B C		★佐賀県教育センター 小学校算数学習プリント 小学六年【比とその利用】 ★学習している教科書会社の学習プリント 【啓林館】自己評価テスト 【東京書籍】うたためシート
↓	・等しい比の意味や、比の値の意味を理解すること	114～115	79～81	A B C	①	
↓	・等しい比の意味や性質を基に、比を簡単にする	116～117	82	A B C	②	
↓	・いろいろな方法で小数の比や分数の比を簡単な整数の比にすること	118	83	A B C	③	
↓	・比を使った割合の問題 比を基にして、一方の量からもう一方の量を求めること	120	84	A B C	④	
↓	・全体を決まった比に分ける問題 ある量をきまった比に分けたときのそれぞれの量を求めること	121	85	A B C	⑤	



ここでは、単元で学習する詳しい内容や自己評価する内容と、それに該当する教科書のページが分かります。また、自己評価した結果を○で囲むことで理解度が分かります。



ここでは、☆部に該当する問題番号を示しています。問題は別紙に載せています。



ここでは、Webサイトで紹介されている学習プリントを示しています。

自己評価シートの使い方(概要)

- 【ホップ】【ステップ】では、図1の【ホップ】に示している「教科書を読んだり、問題を解いたりして自己評価する内容」について、それぞれ自己評価を行い、【ステップ】に示しているチェック問題に取り組みます。
- 全ての内容の自己評価とチェック問題が終わったら、【ジャンプ】に進みます。【ジャンプ】では、「教科書会社の学習プリント」や「佐賀県教育センターの学習プリント」に取り組みます。サイトまでの進み方は、資料1をご覧ください。
- 【ホップ】【ステップ】【ジャンプ】の進め方については図2、または、【児童用】自己評価シートの使い方をご覧ください。

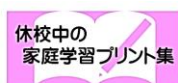
【図2 【ホップ】【ステップ】【ジャンプ】の進め方】

【ホップ：自己評価をしよう】 ①教科書を読む ②教科書の問題を解こう ③答えや解き方を確かめよう ④自己評価をしよう	【自己評価の目安】 A：わかった B：少しわからないところがあった C：わからないところが多かった	【ステップ：チェック問題を解こう】 ・自己評価A、B→チェック問題を解こう ・自己評価C →友達や家族、先生に聞いたり、ポイントをまとめてからチェック問題を解こう	【ジャンプ：今よりもっとわかるように取り組もう】 チェック問題が全て終わったら、次のどちらかに進もう ・チャレンジ問題 ・もう一度確かめてからチャレンジ問題
---	---	--	--

【資料1 サイトまでの進み方】

- ①佐賀県教育センタートップページ
- ②授業に役立つコンテンツ
- ③授業に役立つ実践研究
- ④令和2年度研究成果【小学校算数】

- ⑤【小学校算数】のページ内にある以下のバナーをクリック



【佐賀県教育センター】小学校算数学習プリント



【啓林館】教科書対応算数自己評価テスト

【東京書籍】小学校算数 うたためシート

「教科書会社の学習プリント」は、教師用「指導書」にも収録されています。

自己評価シートを使う場面

- 日々の自主学習の教材として
- 長期休業中（夏季休業、冬季休業、年度末休業）の復習教材として
- 休校中の復習教材として
- 休校中の予習教材として

チェック問題について

学習内容の理解について自己評価させた後に、チェック問題を使って理解を確かめます。なお、チェック問題は、自己評価シートとは別に作成していますので、児童がチェック問題に取り組むことができるように、解答も合わせて印刷してください。また、チェック問題がない場合は、自己評価シートで示している教科書のページにある問題を解かせるようにしてください。



ここを見ると、チェック問題で自己評価する内容が分かります。
これは、自己評価シートの「教科書を読んだり、問題を解いたりして自己評価する内容」と対応しています。

【チェック問題】①等しい比の意味や、比の値の意味を理解すること

H28_12月_6年・・・95.8%

にあてはまる数を書きましょう。

$$16 : 28 = 4 : \boxed{}$$



ここを見ると、チェック問題（学習状況調査）の出題年度、出題学年が分かります。
(例)【H28_12月_6年】は、平成28年度 12月調査 小学校第6学年を表します。
(例)【R1_12月_6年】は、令和元年度 12月調査 小学校第6学年を表します。

県内の児童が、どれくらい正解したのかを表す正答率も分かります。

チェック問題の解答について

チェック問題の解答は、図3のように單元ごとにチェック問題の一番最後に載せています。

【図3 チェック問題の解答】

【チェック問題】⑤全体を決まった比に分ける問題（ある量をきまった比に分けたときのそれぞれの量を求めること）

H31.4月_中1・・・52.0%

トマトケチャップとマヨネーズを3：2の割合で混ぜて、ソースを作ります。60gのソースを作るためには、トマトケチャップは何g必要ですか。答えを書きなさい。

小学校第6学年【比とその利用】のチェック問題 【解答】

①7

ウ、エ

②2:3

③ア、エ

④イ

⑤36g